

埼玉親善大使レポート オーストラリアクイーンズランド州派遣

埼玉県桶川市出身
須佐まな花 / Manaka Susa

はじめに

この度、埼玉県・クイーンズランド州スカラシップ事業の奨学生として、オーストラリアにある埼玉県の姉妹州、クイーンズランド州のゴールドコーストに派遣させて頂きました須佐まな花と申します。奨学生として、5週間ホームステイをしながら、サザンクロス大学への留学を経験するとともに、現地の人々や文化に触れて、埼玉県とクイーンズランド州の相互理解を深めていく埼玉親善大使を拝命いたしました。オーストラリアにおいて、語学学校での英語の学びのみならず、現地生活を通して現地の生活を送り、オーストラリア文化に深く触れさせていただいた経験は非常に有意義で素晴らしい経験になりました。

当事業での派遣に際して、選考から渡航準備、帰国までのサポートなど、多大なるご尽力を頂いた埼玉県庁国際課の皆さまをはじめ、関係して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

3. 滞在記

[渡航]

日本の成田空港からオーストラリアのブリスベン空港に向かいました。空港には予定より20分早く到着しましたが、到着した瞬間に空港が緊急封鎖されてしまったため、1時間半ほど機内に閉じ込められていました。今までにないことのように、迎えにきてもらっていたお迎えの運転手さんも驚いていたくらい珍しい体験をしました。

[気候]

オーストラリアは南半球に位置するため、基本的に日本とは真逆の季節となっています。私が訪れた2月は真夏でした。今年の夏は猛暑だったため、気温は20~32℃、湿度は57~100%となっており、体感温度は非常に高かったです。昼間は暑く、太陽光も強かったのですが、夜から朝方にかけては長袖が欲しくなるほど肌寒くなりました。雨は基本的に少ないとのことでしたが、急にザーッと振ってきたと思えば、1分で止んだり、晴れの天気予報で空は快晴なのに朝に家を出ると軽く降り、バスで大学に到着したら止んでいた、というような一時的な軽い雨が多かったです。ただ、滞在中にはゴールドコースト付近にサイクロンが接近しました。ゴールドコーストに上陸する予報もありましたが、レベルが下がり、進行方向も変わったため、直撃せずに済みましたが、雨や海が大荒れした日もありま

した。

[ホームステイ]

私は Catherine さんのお宅にホームステイしてきました。

マザーはブリスベンの大学で英語を教えていて、何度も日常会話での私の発音やイントネーションの違いを汲み取ってもらい、現地の英語に直してもらいました。

このお宅は、オーストラリアでコアラを抱っこできる動物園の Currumbin Wildlife Sanctuary のお隣にありました。園内バスが走っているところがベランダからすぐ見えるこの立地では、動物園にあつま様々な野鳥の声で目覚めを迎えることができます。



[野鳥]

オーストラリアの野鳥は日本でよく見られるスズメやカラスとは違います。特に、Currumbin Wildlife Sanctuary でも餌やり体験が行われている、レインボーロリキートは野鳥であることが日本の野鳥からは信じられないほどきれいな虹色です。



[バス]

ホームステイ先から大学へは、バスに 15 分ほど乗ったところにあります。オーストラリアのバスは日本のバスと少し違います。まず、バス停に近づいたバスに乗り込みたい場合は片手を前に挙げます。これをしないとバス停にいても停車してもらえません。そのため、バスを待つときは常にバスが来る方向を見ている必要があります。そして、日本の Suica のように Go card をタッチして座ります。バスは基本的に座ることができるほどの混み具合でした。クイーンズランドのバスは、次に到着するバス停の表示がありません。自分で外の風景を見て、降車するバス停に近づいたらボタンを押して知らせます。そのため、バスに乗車中は現在地の確認と外の風景から目が離せませんでした。

[学校]

私が通っていたのは Southern Cross University の英語コースです。同じクラスには、日本人、台湾人、中国人が多くいました。ほとんどのクラスメイトは英語コースが終わった後に大学の講義に編入するようでした。この英語コースを修了した後にパイロットのプ

ログラムに進む予定のクラスメイトも数人いて、将来のパイロットとも友達になれました。授業は 8 時 30 分に開始し、90 分 2 コマ、60 分 1 コマの 3 コマで午後 1 時 15 分に終了しました。その後 1 時間は自由に先生に質問することもできました。

授業の内容は毎週テーマが変わり、Social Media や Valentine' s day、Domestic Animal などのテーマがありました。各テーマに合わせて単語を学んだり、ディスカッションを通してお互いの考え方や価値観を共有してコミュニケーション能力を上げたり、文法を深く学んだりすることでさらに英語の基礎力を向上させました。

[食事]

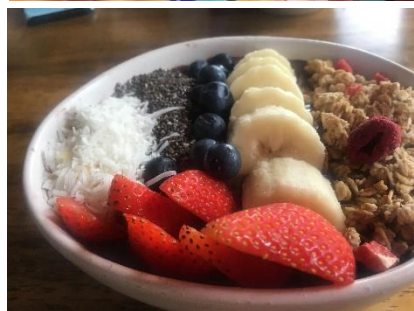
朝

普段：

学校がある日の朝食は基本的にマザーが作ってくれました。焼いたバゲットの上にトマトサーディンやビーンズを載せたものとフルーツ、またはヨーグルト、それとオレンジジュースが毎日の朝ごはんでした。マザーの仕事が朝早かったり、朝にカヌーの練習をし



に行ったりするときにはシリアルを食べたり、自分でサンドイッチを作っていました。



休みの日：

カフェではアサイーボウルや朝食プレートを食べました。日本よりも物価が高いクイーンズランドでは少し高く、アサイーボウルは 15 \$ (1400 円程度)、プレートは 18 \$ (1700 円程度) でした。

昼

平日：

マザーにお弁当を作ってもらいました。クリームチーズにレタスとトマト、チーズ、ピクルスとローストビーフやチキン、ハムなどをトーストしたブレッドで挟んだサンドイッチです。たまに、夕食にピザを焼いてくれて、夕食のレフトオーバーを翌日のランチにも持っていきました。友達もサンドイッチやマザーに作ってもらったサンドイッチやレフトオーバーのピザやパスタが多かったです。

また、台湾人の友達 日本のカップ麺をアジアショップで買ってくることも多く、日本語で記載されている作り方を教えて一緒に作ることもありました。

休みの日：

自分の住んでいた Currumbin から足を延ばしてお出かけした先

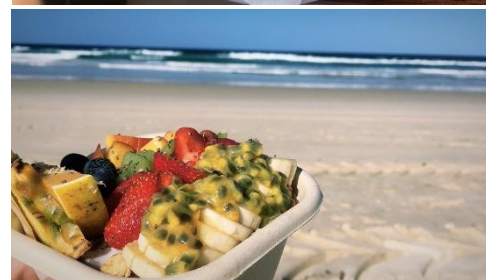
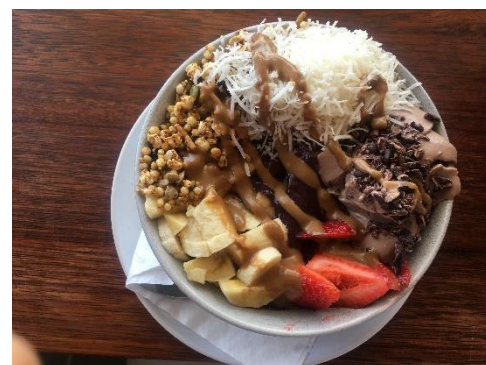


で食べるが多かったです。特に、かつてイギリスが深く関わっていたオーストラリアで有名なフィッシュアンドチップスを食べることが多かったです。私のお気に入りには、Burley heads の Fish Monger のフィッシュアンドチップスです。日本で私が想像していたものとは違い、注文が入ってから揚げる大きな白身魚のフライとたくさんのポテトフライがありました。写真のように、たくさんのほくほく揚げたてポテトの上に、すごく大きくてふわふわな白身魚フライがのっかっています。私が使っていたサングラスの何倍も大きかったです。この量で一人前ですが、多すぎるため2人で1つでちょうどよかったです。

おやつ：

日本でもおなじみのタピオカや学校帰りにアサイーボウル、フルーツスムージーを買うことが多かったです。特に私が行ったゴールドコーストではアサイーボウルが有名でたくさん提供しているお店がありました。お店それぞれでアサイーボウルの内容が異なっていて、アサイーの上に乗っているフルーツが沢山なアサイーボウルやスーパーフードとグラノーラが沢山乗っ

ているアサイーボウル、アサイーにフレーバーがあるアサイーボウルなど様々でした。私のお気に入りには、Tuganにある Tugun Fruit & Flowers という、フルーツ屋さんがお店で扱っているおいしいフルーツをふんだんに使用したアサイーボウルです。海岸が近くにあるので、白い砂の上に座って海を見ながら食べていました。



夕食：

マザーが作ってくれた夕食は野菜が沢山使われていました。また、日本ほど夕食をたくさん食べる文化がなく、オーストラリアの人は朝食を大事にするので、マザーは夕食をフルーツで済ませる日も少なくありませんでした。たまに、ピザのデリバリーを頼んでマザーとシェアしたり、マザーがタコスを手作りしてくれたり、グリーンカレーを食べたり、野菜中心とインターナショナルな食事が多かったです。また、オーストラリアではカンガルーのお肉がスーパーに売っています。友達と毎週ステーキに調理して食べました。



毎週金曜日の夜は近所に住んでいるマザーの親戚と食事をとりました。その中で日本食レストランに行く機会がありました。そこでは、現地で開業した日本人、ワーホリとして働く日本人の方がやっていて、美味しい日本食を頂くことができました。

また、マザーは Dumpling が大好きで最終日には日本の餃子をふるまってきました。ニラと豚ひき肉を料理に使う文化がなく、手に入れるのが大変でしたが、無事に作り終え、マザーとその親族に食べていただけて良かったです。気に入ってもらえて、マザーには作った餃子のメニューを英訳して紙に書くリクエストをもらったので、日本の餃子レシピを伝授してきました。

[お出かけ]

晴れた日には Stand up paddle を体験しました。ビーチがきれいでいい波が来るゴールドコーストではサーフィンが有名でしたが、旅行者や子供には波が穏やかなサップの人気が高かったです。ウォータースポーツに慣れてない中、軽いレクチャーのみで不安でしたが、簡単にマスターできました。海に漕ぎ出して波の乗ることはもちろん、波や風が無いフラットな海面ではボードに乗りながらクルージング、釣り、ヨガなどを楽しんでいる人もいました。

Currumbin Wildlife Sanctuary

ホームステイについて、この動物園が隣にあると書きましたが、毎日前を通るたびに観光客や観光バスが溢れかえっていました。この動物園はオーストラリアでは珍しいコアラを抱っこできる動物園です。埼玉県と姉妹州のクイーンズランド州では合法でしたが、オーストラリアのいくつかの州ではコアラを抱っこすることが禁止されています。私が抱っこしたコアラは赤ちゃんのような大きさと重さでとてもかわいかったです。その他、原住民のアボリジニにあって伝統のダンスをみる機会や、カンガルーに至近距離で餌をあげることもできました。



ビーチ

ゴールドコーストは、57キロにも及ぶ長く美しい海岸線が有名です。大学も家も海岸線に面しているため、放課後には海岸沿いの歩道をずっと歩くことができました。この海岸線に沿ってたくさんの街ができていて、繁華街の近くに位置し、老若男女問わず人気があるサーファーズパラダイスビーチや、特にきれいな海とビーチで有名なクーランガッタビーチ、サーフィンの大会も多く開催され、サーファーに人気があるキラビーチなどがあります。それらのビーチ沿いには、おしゃれなカフェやレストラン、アイスクリームショップなどが多くあります。





[埼玉県について]

私の通っていた学校のクラスメイトに対して、埼玉県の魅力についてプレゼンする機会をいただきました。日本の四季がはっきりしていることを導入として、四季折々の埼玉県の自然の魅力を紹介しました。春は秩父の芝桜、夏はライン下り、秋は埼玉の様々な紅葉、冬は秩父の冬祭りや夜祭を紹介しました。

日本の埼玉から来た、という意外と埼玉県を知っている人が多いイメージがありました。

私の学校の先生は過去に住んでいた人が何人かいて、東京ほど観光地としての派手なイメージがないものの、過去に住んでいた人にとっては「住みやすい街」というイメージがあるようでした。

WHAT IS SAITAMA?

1 hour to TOKYO
by train

Residential city
Big population in Japan

Over a million
commute to TOKYO for work



**SEPTEMBER-NOVEMBER:
AUTUMN**



APRIL-MAY: SPRING

Glass cherry blossom

400,000 flower
10 different
varieties and colors.



Sapporo winter festival

Chichibu night festival



JULY-AUGUST: SUMMER

Nagatoro valley Japanese-style ships float about 3 km down



おわりに

埼玉県の姉妹州であるクイーンズランド州での学びの機会を与えて頂いたことを心より感謝いたします。この経験から将来の埼玉県の発展に貢献するため、語学力の向上に努めるだけでなく、様々な価値観や考えを持つ視野の広さを学び続けたいと思います。最後に、この事業でお世話になりました皆さまに心よりお礼を申し上げます。